

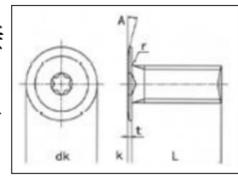
やまりん新聞



アルミ製スリムヘッド スクリュー・シックスロブ

スリムヘッドスクリューはねじ頭部の出っ張りを極力少なくしたい箇所に適した商品です。

従来はステンレス製と鉄製のみの販売でしたが、今回アルミ製が登場しました。鉄やステンレスに比べて約1/3の軽さで、シックスロブなので締付時に工具とリセスとの接触面が多くなりカムアウト(工具が浮き上がって滑ってしまう現象)も軽減されます。



	M3	M4	M5	M6
dk	7	8	9	12
k	0.8	0.9	1.0	1.2
t(min)	0.75	0.9	1.0	1.2
ドライブサイズ	T6	T8	T10	T20
A	約30度	約30度	約30度	約30度
最小破壊トルク	0.45Nm	1.0Nm	1.7Nm	3.3Nm

頭部スリ・軽量・防錆・いたずら防止に、スリムヘッドスクリュー・シックスロブをぜひお試しください。

また、カラーアルマイト処理された『彩ーさいー』というシリーズもございます。詳細につきましては弊社営業担当までお気軽にお問い合わせください。

ねじ緩み止め用嫌気性接着剤

“ねじの山崎”の店頭で一番の売れ筋商品をご紹介します。

メーカー：3M (スリーエム)

商品名：ねじ緩み止め用嫌気性接着剤

容量：10ml

人気の理由は

- ①価格が手頃なこと。1本10ml入りで@900円(税抜き)
- ②使いきれの程度の量であること。試しに使ってみようかなと思える量では?
- ③馴染みのあるメーカー品であること。

L	M3	M4	M5	M6
6	○			
8	○	○		
10	○	○	○	○
12		○	○	○
16		○	○	○
20			○	○

同じラインナップに50ml、250mlもありますが、店頭では10mlを販売しております。

詳細は下記をご覧ください。よろしければ一度お試しください。



●商品の詳細

下記商品すべてに共通

・硬化時間…15分

(完全に硬化するまで24時間以上置いてください。)

・推奨ネジ径…M20以下

・使用可能温度…-54~150℃

・金属ではないねじには効果がありません。

●品番…TL22J 低強度

・色：紫、破壊/脱出トルク：8/4(Nm)

【特徴】取り外し可能。小径のネジ、調整用のネジなど取り外すことが多い場合のゆるみ止めに。アルミや真鍮など、大きな力で傷つきやすい、変形しやすい材質のゆるみ止めに。

●品番…TL42J 中強度

・色：青、破壊/脱出トルク：17/5(Nm)

【特徴】取り外し可能。取り外す可能性のある、



大型のネジ (M20以下推奨) のゆるみ止めに。

●品番…TL62J 高強度

色：赤、破壊/脱出トルク：22/12(Nm)

【特徴】永久固定 (取り外し不可)。一般的なネジのゆるみ止め、シールに。

起承転結あれこれ

文章を書くとき「起・承・転・結」で構成すると、うまくまとまると言われます。

代表的な起承転結の文例として、

- ・起：大阪本町 糸屋の娘
- ・承：姉は十六 妹が十四
- ・転：諸国大名 弓矢で殺す
- ・結：糸屋の娘は 目で殺すと、いうのがあります。

また、童謡の「どんぐりころころ」も、

- ・起：どんぐりころころ どんぶりこ
- ・承：お池にはまって さあたいへん
- ・転：どじょうが出てきて こんにちは
- ・結：ぼっちゃん いっしょに あそびましょと、起承転結になっています。

(左下へ)

(右上から)

このように、「転」の場面でいきなり「諸国大名」や「どじょう」を登場させることで、文章に弾みを付けたり意外性を出すことができます。

さて、特許の出願時に書く「特許明細書」も見事に「起承転結」になっています。

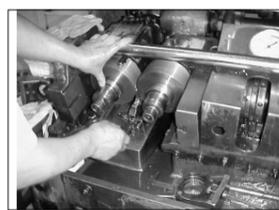
- ・起：【発明の属する技術分野】
- ・承：【従来の技術】
- ・転：【課題を解決するための手段】
- ・結：【発明の効果】

この「転」の部分が肝(きも)で、ここに記載されている内容を【請求項】(クレームという)にまとめ【特許請求の範囲】にします。特許庁の審査官により【特許請求の範囲】に、記載された内容に新規性や進歩性などがあるかを審査されます。

また、「転」を含んだことわざも色々あります。

- ・転石 苔(こけ)をむさず

- ・転ばぬ先の杖
- ・転んでもタダでは起きぬ
- などどれも含蓄の深い言葉のように思えます。



そして、ネジの製作方法のひとつに「転造」という大変重要な工程があります(写真1)。

そう考えると、起承転結の内「転」が最も重要であることを改めて認識します。

ただ、残念なのは、この文章そのものがうまく「起承転結」でまとめられなかったことです。

ねじの雑学

本誌記事でスリムヘッドスクリューのリセスに「シックスロブ」が採用されているというお話がありました。この「シックスロブ」、あまり聞きなれない名称ではないかと思しますのでこの機会にご説明致します。

「シックスロブ」は知らなくても、「トルク

ス(TORX)」はご存じかも知れません。アメリカのカムカー社が開発した六角をもつ星形状のリセスのことで、トルクの伝達効率が高く、応力の集中が少ないのが特徴です。

実は「シックスロブ」は、この「トルクス」の一般名称なのです。

「トルクス」は穴付きボルト(写真2)、穴付き止めねじ等に長年採用されてきました。特許の問題でライセンスがないと製造できないものですが、特許が終了したので誰でも製造ができるようになりました。

しかしながら「トルクス」という名称は現在でもアキュメント社の登録商標であるため、許諾なしに「トルクス」という名称が使用できません。そこで使用許諾を得ていない場合は「トルクス」の代わりに「シックスロブ」という名称を使用しています。JISで規定しているように「ヘキサロビュラ(Hexalobular)」と呼ぶこともあります。JISではJIS B 1107でヘキサロビュラ穴付き小ねじや、JIS B 1136でヘキサロ

ビュラ穴付きボルト(図1)等をそれぞれ規定しています。

リセスのサイズは先頭にTを付けた数字で指定します。



但し、Tが付けられていない場合もあります。穴の寸法は表1のようにA寸法という星形の先端間の長さで規定されています。

ちなみに、日本のメーカーで「トルクス」と表示しているのは、ねじメーカーでは日産

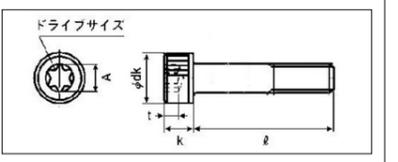


図1 ヘキサロビュラ穴付きボルト

ネジ、日東精工など、工具メーカーではKTCやTONEなどが挙げられます。

表1 JIS B 1136 ヘキサロビュラ穴付きボルト寸法抜粋 (※JISではTが付いていない)

穴の番号No. (呼び※)	6 (T6)	8 (T8)	10 (T10)	15 (T15)	20 (T20)	25 (T25)	30 (T30)	45 (T45)	50 (T50)
A寸法	1.75	2.4	2.8	3.35	3.95	4.5	5.6	7.95	8.95

ご意見、ご不明点等ございましたら下記までお願いいたします。